

秋のイベント・文化祭中止のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、以下のイベントおよび文化祭は開催中止となります。

秋のイベント

- ・第23回 本山太鼓まつり ・第23回 どぶろく祭り ・大坊市 ・朝日山森林公園秋まつり
- ▶問い合わせ 産業政策課 ☎73-3012

文化祭

- ・たかせ町民文化祭 2020
▶問い合わせ 文化協会高瀬支部 ☎72-5367(大井)
- ・山本町文化祭「第21回やまもと芸能発表会」
▶問い合わせ 文化協会山本支部 ☎63-1041
※山本町の作品展示は、年間通して山本町生涯学習センターで開催しています。
- ・三野町大見地区文化祭
- ・三野町下高瀬地区文化祭
- ・三野町吉津地区文化祭
▶問い合わせ 三野町公民館 ☎73-3114
- ・豊中町文化祭
▶問い合わせ 豊中町公民館 ☎62-1155
- ・詫間町文化祭
▶問い合わせ 文化協会詫間支部 ☎080-6281-8811
- ・仁尾町文化祭
▶問い合わせ 文化協会仁尾支部 ☎82-2193(三野)
- ・第49回たからだ文化祭
▶問い合わせ 財田町公民館 ☎67-0108
- ・第15回三豊市文化協会文化祭
▶問い合わせ 市文化協会事務局 ☎56-6251

香川高専の学生がベンチャー企業を設立

8/20 香川高専詫間キャンパス

香川高専詫間キャンパス・専攻科1年の武智大河さんが、AIを活用した電線点検サービスシステムの提供などを行うベンチャー企業「株式会社三豊AI開発」を設立しました。市と香川高専、東京大学大学院松尾研究室の3者は2018年に「人工知能(AI)技術による地域活性化のための連携協力に関する合意書」を締結しており、今回の起業に向けても、3者で研究に取り組んできました。



▲送電線点検ロボット

武智さんは、株式会社三豊AI開発の設立にあたり、「AIを含む、さまざまな技術を提供することで、少しでも社会に貢献できる企業に成長させたい」と抱負を語りました。



会見を行う
株式会社三豊AI開発
代表取締役社長・
武智大河さん

みとよHOT
ほっとNEWS

ほっとニュースは
市ホームページでも
三豊市 検索

気象観測器を使った“スマート農業”について学ぶ

8/28 笠田高等学校

笠田高等学校で市によるスマート農業の出前講座が行われ、野菜専攻の3年生10人が参加しました。市と笠田高等学校は2月に「薬用作物・地域農産物による人材育成・地域活性化のための連携協定」を締結し、この協定に基づき薬用作物の栽培研究や先進技術を活用したスマート農業の検証を行っています。生徒たちは3月にトウキとサイコという薬用作物の苗と種を植えており、今後、気温や湿度、土壌水分量などのデータを計測しながら、栽培に適した条件を検証します。



▲MAIZUM(みとよAI社会推進機構)職員による圃場データ計測器の説明

▶地域おこし協力隊員による生薬の出前講座。「生薬は国内で栽培実績が確立されていないため、土壌を検証しデータを集積することはとても有益です」



催し 文書館 秋期企画展「文書館のお仕事 ～その業務と収蔵資料～」

▶問い合わせ 文書館 ☎63-1010



▲旧町の議会議事録



▲昭和25年3月に笠田村で天皇陛下をお迎えしたときの古写真

文書館とはどのような仕事をしているのでしょうか。その業務と収蔵資料をご紹介します。

会期 10月3日(土) 11月29日(日) 午前9時～午後5時
※月曜、祝日、10月30日、11月27日は休館

会場 文書館

主な展示資料

- ・利用頻度が高い歴史公文書
- ・市や旧町にとって特に重要な歴史公文書
- ・歴史的・文化的価値が高い歴史公文書
- ・文書館の業務内容についての写真パネル

収穫時期を迎えたシャインマスカットを収穫!

9/1 市内ぶどう畑

比地大小学校5年生12人と桑山小学校6年生21人が、市内生産者の協力のもと、ぶどうの収穫体験を行いました。子どもたちはぶどうをしっかりと手で支えながら、一房ずつ大切に収穫しました。



比地大小学校

◀畑と一緒に栽培されているニューピオーネも収穫!



桑山小学校

▲ぶどうについての話に真剣に耳を傾けます

三豊に現代サーカスの新たな拠点が誕生

9/4 三豊市役所

現代サーカスを国内外に発信する一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリーが、旧神田小学校の屋内運動場で稽古・創作拠点として活動を開始するにあたり、市長にあいさつに訪れました。今後はサーカスの公演だけでなく、練習風景の見学も可能とあって、地域のにぎわいに繋がるのが期待されます。



ひきこもり研修会

9/5 みとよ未来創造館

香川県ひきこもりサポーターを講師に迎え、民生委員・児童委員らを対象にひきこもり研修会が行われました。当事者または家族の立場でひきこもりを経験した講師が、前向きになったきっかけや当時の心境などを中心に話しました。講演中、参加者は熱心に耳を傾けていました。

